

【テーマ】  
3-活動の発展性を高めるための取組  
(2) 情報発信

【採択年度】  
R3 年度

## 益城町 ましきフットパスの会

熊本地震からの復興と農山村の活性化を願い、そのきっかけづくりになればとの思いで、郷土史を学ぶ仲間 11 名で「ましきフットパスの会」を結成しました。現在は 13 名の会員で 11 のフットパスコースを作ることができました。

### 地域の課題と活動をはじめた動機

益城町には、先人が遺した文化遺産や遺跡が数多くありましたが、平成 28 年（2016 年）熊本地震で損壊し、また、復興のための開発によって減少しています。

地震からの復興と農山村の活性化を願い、そのきっかけづくりになればと郷土史を学ぶ仲間「ましきフットパスの会」を結成しました。

### 活動（事業）内容

- フットパスのイベントに向けて、①～④を実施しました。  
※①コース検討、②コースマップ作成  
③看板製作、④イベント実施地区への周知
- フットパスのパンフレットを作成し、公共施設などへの設置による情報発信にも取り組みました。

### 成果

- フットパスイベントでは、地区住民と参加者との交流が行われ、リピーターと新規参加者の増加につながりました。
- 地域の歴史や文化を知ってもらうきっかけと理解につながり、現在では、フットパスのコースが 11 コースまで増えました。

### 現在の活動と今後の展望

- 令和 5 年（2023 年）には、新たに 2 名が入会し、1 年に 2 回の活動（事前巡見と清掃）を行っています。今後は世代交代を見据えて、若者が参加しやすいイベントを検討していきます。
- イベント時の地域住民との交流（えんがわカフェ）場所の設置と農産物の販売を継続して実施します。

### 連携団体

- 益城町生涯学習課
- フットパスイベント実施地区

### 情報発信媒体

- なし



フットパスの看板のある道



フットパスコースマップ



フットパスイベント



えんがわカフェ

【地域の概要】益城町（人口）34,036 人（世帯数）14,416 世帯 [住民基本台帳 2023.12 現在]  
【組織の概要】ましきフットパスの会 会長：村口 省三 会員数：13 名 活動拠点：ミナテラス 益城町交流情報センター

### 事業企画・展開のポイント

## 熱意があればできる！

地区区長さんの理解と協力なしではイベントはできません。地元有志による説明案内を組み込むとイベントが盛り上がるので、協力依頼が必要です。イベントの成功は、私たちの熱意にかかっています。



コースの巡見



コースの清掃

### 組織運営のポイント

## 会員の協力なしでは、なんにもできん！

会員 13 名、全員 70 代ですが、まだまだやる気に満ち溢れています。会員の声を取り上げ、「皆んなで協議し、皆んなで決定、皆んなで楽しく実行」をモットーにしてやっています。無理なく、焦らず、永く会を続けたいと思います。



定例会



コースの検討風景

### 他の団体と連携ポイント

## 周知徹底と PR 活動！

他の団体と共催する時は、依頼団体の責任者とよく打合せを行い、ニーズを確認し、関係者への周知徹底に努めています。情報発信では、町の広報紙でのイベント案内に加え、各種行事への参加による活動内容の周知を心がけています。



施設での展示等

みんなの掲示板  
ふる里再発見！  
土山・本土山を歩こう  
熊本藩御用達の土山瓦の古里と、飯田山へ続く里道に佇む一丁地蔵などを見ながら一緒に歩きましょう（参加料500円、先着25人）。  
とき 11月12日① 午前9時～正午  
ところ 国道443号土山交差点東側駐車場  
申込・問い合わせ フットパスの会（村口）

37 広報まじき 令和5(2023).11

広報まじきでの取り上げ記事